

事 業 評 価 書

補 助 事 業 名	消防に関する施設:災害用備蓄用品購入				
補 助 事 業 者 名	木更津市長				
実 施 場 所	木更津市高柳三丁目7-49ほか				
補助事業の成果の目標	<p>災害が発生した場合、行政は人命救助・水防・火災延焼防止等の活動を行うと共に、避難者を受入れ、その生活の援護を行う義務があります。</p> <p>本事業は、購入から20年以上が経過し、経年劣化による故障等が発生し、また現在では部品がないため修理することが困難であるインバーター式単相発電機、非常用照明器具を新たに購入し、災害時に備えることで、避難所の生活環境の改善を図り、地域住民が安心して暮らせる環境の創設を目標としています。</p> <p>【参考指標】 木更津市住民基本台帳人口 135,884人(令和3年6月1日現在) 想定避難者数 47,748人(木更津市地域防災計画)</p>				
補 助 事 業 の 内 容	災害用備蓄用品(非常用発電機・照明灯)				
補助事業の始期及び終期	令和3年度				
事業費及び交付金額		令和2年度	令和3年度	令和4年度	計
	事業費	円	円 7,425,990	円	円 7,425,990
	交付金額		6,000,000		6,000,000
補助事業の成果及び評価並びに地域住民への周知の実施状況	<p>[補助事業の成果及び評価] 災害用備蓄用品を購入したことで、避難所の生活環境の改善を図ることができた。また、停電時においても、発電機等を活用して速やかに避難所の開設、運営をすることができるため、地域の区長からは、「避難所における生活環境が改善されたことで、安心して避難することができる。」、「避難所を開設する際に必要となる電力、照明の確保ができたことで、地域の住民からも安心だとの声が上がっている。」など好評をいただいていることから、地域住民が安心して暮らせる環境が創設されていると判断する。</p> <p>[地域住民への周知の実施状況] 当該事業について市民に周知するために、木更津市公式ホームページ及び市の広報誌、広報ささらづ12月号に事業の実施状況を掲載している。</p>				
事業の改善措置及び今後の対応	—				
事業評価に際しての第三者機関の活用の有無	無				